

町の文化ざい ●●●● みんなに見てほしい大切なもの ●●●●

1 **霊山** (国指定文化財～史跡・名勝)

いま やく たいし しゃか
 今から約1200年前に、じかく大師が山に寺を開き、釈迦
 しゅぎょう りょうじゆせん りょうぜん
 が修業したインド霊鷲山になぞらえて霊山としたと言われ
 ています。かいばつ ふうがしんしよくさよう きがん
 海抜825メートルで長い間の風化浸食作用で奇岩
 かいせき びょうぶ
 怪石が屏風のようにそびえたっています。
 なんぼくちようじだい りょうぜんじょう
 南北朝時代には霊山城がぎずかれました。



2 **青磁皿** (県重要文化財～工芸品) 霊山神社

たいしやう りょうぜんふた いわ
 大正6年、霊山二つ岩の近くから発見され、日本におけ
 るせいざら もと か
 る磁製皿として最も古いと言われています。他に、欠けた
 皿まい かぼん くち
 皿1枚と花盆1口があります。



3 **行人田遺跡** (町指定文化財～史跡) 下小国

しょうわ はくつちやうさ むろまちじだい
 昭和58年に発掘調査されました。地上には室町時代～
 えど じだい きやうづか じやうもんじだい
 江戸時代のはじめの「経塚」、地下には縄文時代はじめの
 どうこうぐん はっけん ごうづか いちじいっせききやう
 「土抗群」が発見されました。2号塚から「一字一石経」
 が出てきました。



4 **懸田城跡** (町指定文化財～史跡) 掛田

ちやうすやま じやうかん
 茶臼山(古城山)にあり、城館としての形をとどめてい
 ます。どるい からぼり たいかく やましろ なんぼくちようじだい
 「土塁」「空堀」「帯郭」のある山城です。南北朝時代
 なんちやうがた しろ りょうぜんじやう でじろ
 の南朝方の城で、霊山城の出城でもあったそうです。いま
 さくら
 は、桜の名所としても親しまれています。

